

グリーフケア、終活について

提 案	<p>島根県内も2025年には超高齢化社会へ突入し様々な面で多くの問題が出てくるのではないかと思います。生活する誰もが一人として認められ、必要とされるそんな雲南市へ更になってほしいと思っています。私自身、プライベートで大きく環境が変化したことでグリーフケアを学んでいる最中です。 コロナは大切なものを沢山奪ってしまったと、反面人と人との繋がりがどれだけ大切か学んだと思っています。深い悲しみを誰にも打ち明けられなかったり、終活など関心はあるけれど知る機会がない分からない方が大勢いらっしゃるのではと感じています。雲南地域でも、そうした活動をしていらっしゃる講師をお招きされてはどうかと思いましたのでこの度ご提案させていただきました。</p> <p>より良い雲南市になるよう願っています。</p>
回 答	<p>雲南市では、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・住まい・生活支援が包括的に確保されるような仕組みづくりを関係機関と連携して推進しています。</p> <p>「グリーフケア」に関しては、様々な理由で大切な方との別れを経験し遺された方へのこころの健康支援として保健師による個別相談対応や、必要に応じて医療や専門相談の窓口紹介を随時行っております。</p> <p>「終活」の支援に関しては、厚生労働省が進める「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」の考え方にに基づき、医療や介護のケアの支援者となる専門職向けの研修や、法律の専門家や医療介護関係者が設立された市民団体と協働して市民の方へ「終活支援ファイル作成教室」や「終活サロン」等を開催しております。しかし市民の方の終活に関する認知度はまだまだ低く更なる普及啓発が必要と考えており、現在、意思決定の支援となるよう雲南市版のエンディングノートを作成中です。これらを活用しながら市民向けの啓発を継続し、ご提案を頂いたような講師を招いての講演会や研修会の実施等も検討しながら、本人や家族の意思を尊重した望む暮らしの実現に向けた取り組みを推進して参りたいと考えております。</p> <p>この度は貴重なご意見を頂きありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(回答部署：健康福祉部健康づくり政策課)</p>